

科目・コース（ユニット）名： 解剖・組織学Ⅱ（脳解剖学）

英語名称：Neuroanatomy

【担当責任者】辻岡 洋（神経解剖・発生学講座）

【連絡先】（電話） 024-547-1116（e-mail） anatomy1@fmu.ac.jp

【開講年次】 2年 【学期】 後期 【必修／選択】 必修

【授業形態】 講義／実習

【概要】

講義、摘出された脳の肉眼解剖、脳切片スライドグラス標本の観察を通して、中枢神経系の機能を担う脳の構造について学習する。さらに、臓器としての脳が機能するために必要な血管系・髄膜・脳脊髄液などについても学習する。講義では、脳の各部位における主要な構造「神経核・皮質・伝導路」について、それらの機能と関連を含めて概説する。実習では、ビデオ教材やアトラスなどを駆使し、複雑な脳の立体的な構造と機能の理解を深める。

【学習目標】

- (1) 中枢神経系の機能をなう構造について理解し説明できる。
- (2) 中枢神経系を冒す様々な病変やその診断法を学ぶ上で基礎となる諸構造について学び説明できる。

【教科書】

(1) 教科書

特に指定はないが、以下の教科書が薦められる。どれか一冊は揃えること。

1. イラストレイテッドカラーテキスト神経解剖学 第5版

A.R. Crossman, D. Neary 著 野村巖、水野昇監訳 三輪書店
6,380 円 ISBN : 978-4-89590-598-5

カラー写真や図が多用され、医学部学生向けに明瞭簡潔に書かれた教科書。
臨床的内容も多く含まれている。用語は、日本語と英語。

2. 神経解剖学講義ノート

寺島俊雄 著 金芳堂 5,060 円 ISBN978-4-7653-1506-7

学生向けに模式的な図を多用して分かり易く書かれた教科書。模式図中心なので、実際の脳の立体構造を理解するためには、アトラスと併用することが必須。
(<https://www.kinpodo-pub.co.jp/book/1506-7/>に正誤表あり)

3. マーティン カラー神経解剖学テキストとアトラス 第4版

John Martin 著 野村巖、金子武嗣監訳 西村書店 7,040 円
ISBN : 978-4-89013-460-1

2015年に改訂された教科書の翻訳版。臨床例が多く、アトラスも充実している。

(2) 実習書

解剖実習の手びき 改訂11版

科目・コース（ユニット）名：解剖・組織学Ⅱ（脳解剖学）

英語名称：Neuroanatomy

寺田春水、藤田恒夫 著 南山堂 ISBN：978-4-525-10311-8

肉眼解剖学実習で使用したものを、脳解剖実習でも用いる。

(3) アトラス

ハインズ神経解剖学アトラス 第5版 （購入してください）

D.E. Haines 著 佐藤二美訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル 7,150 円 ISBN：978-4-8157-0185-7

脳の断面や外観はもちろん、脳血管の図、MRIの画像、重要な伝導路の模式図など、有用な図を収載した脳のアトラス。優れたアトラスで、この版からカラー図版化され、内容が一段と充実した。脳解剖のみならず、神経系が関係するあらゆる臨床科で役に立つ。脳解剖実習では、アトラスを参照しながら脳の解剖を行う。

【参考書】

1) BRS Neuroanatomy 7th ed.

Douglos Gould 著 Wolters Kluwer Health 9,459 円 ISBN：978-1975214371

簡潔にまとめてある英語の教科書。

2) 臨床神経解剖学 第8版

Estomih Mtui, Gregory Gruener, Peter Dockery 著 井出千束ら訳 エルゼビア・ジャパン 10,780 円 ISBN：978-4860346683

イラストが多用されており、分かり易い臨床神経解剖学の教科書。神経系の臨床各科で使うことができる。

【成績評価方法】

脳解剖学の成績は、実習終了後に行う。同定試験および期末試験の成績、実習課題レポート及び実習態度や出席状況を総合して行う。実習終了後の同定試験（授業スケジュール第27回）では、脳の各部位の写真をスクリーンに呈示し、実習を通じて学んだ脳の構造の同定が出来るか、また、主要な部位の機能的な意義が理解されているか、について筆記試験を行う。期末試験では、脳解剖学の理解度を総合的に評価する筆記試験を行う。期末試験の再試験は1回だけ実施する。ただし、本試験において著しく低い点（正規分布において、概ね -3σ 以下の得点）を得たものは、再試験の受験を認めない。

【学習上の注意事項】

マクロ脳解剖の実習手順を説明した動画を、学内限定でオンライン公開する。脳解剖開始前に各動画を視聴し、各実習手順を確認しておくこと。脳解剖学講義内で実習手順の説明は行わない。

出席については、規定に基づき原則として、講義は2／3以上の出席、実習については、4／5以上の出席を要する。

科目・コース（ユニット）名： 解剖・組織学Ⅱ（脳解剖学）

英語名称：Neuroanatomy

【垂直的統合授業の実施内容】

神経系の診断法や治療において脳解剖学の知識がどのように使われているかについて、脳神経外科学講座教員による授業を行う。

【水平的統合授業の実施内容】

脳解剖学に追従して神経生理学の講義が行われるので、関連付けて学習する。脳解剖講義と神経生理講義の対応については神経生理学のシラバスを参照のこと。脳解剖では、脳の肉眼解剖から実際の脳構造を学び、そこから脳機能の概要を学ぶ。さらに、神経生理学によって、脳の生理機能を深く学ぶことになる。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

講義内で、講義担当教員が行っている専門的な研究の内容も紹介されている。

2026年度脳解剖学スケジュール

回	月日	曜日	時限	項目・キーワード(解剖実習の手引き §)	場所	担当教員名
1	8月31日	月	3	(講 1) 総論	第2講義室	辻岡
2	8月31日	月	4	(講 2) 髄膜・脳室・血管	第2講義室	辻岡
3	8月31日	月	5	(講 3) 末梢神経・自律神経系	第2講義室	辻岡
4	8月31日	月	6	(講 4) 脊髄	第2講義室	辻岡
5	9月1日	火	3	(講 5) 脳幹	第2講義室	辻岡
6	9月1日	火	4	(実 1) 実習 (§ 92-94)	解剖実習室	辻岡
7	9月1日	火	5	(実 2) 実習 (§ 95-96)	解剖実習室	辻岡
8	9月1日	火	6	(実 3) 実習 (§ 97-99)	解剖実習室	本間
9	9月3日	木	3	(講 6) 脳神経1	第2講義室	辻岡
10	9月3日	木	4	(実 4) 実習 (§ 101-102)	解剖実習室	辻岡
11	9月3日	木	5	(実 5) 実習 (§ 103-104)	解剖実習室	辻岡
12	9月3日	木	6	(実 6) 実習 (§ 105-106)	解剖実習室	橋本
13	9月4日	金	4	(講 7) 脳神経2	第2講義室	辻岡
14	9月4日	金	5	(実 7) 実習 脳の断面の観察 (§ 100、§ 107)	解剖実習室	辻岡
15	9月4日	金	6	(実 8) 実習 伝導路に沿って脳の断面と切片の観察1	解剖実習室	本間
16	9月7日	月	3	(講 8) 脳神経3	第2講義室	辻岡
17	9月7日	月	4	(講 9) 大脳	第2講義室	辻岡
18	9月7日	月	5	(講 10) 視床・大脳基底核・視床下部1	第2講義室	橋本
19	9月7日	月	6	(講 11) 視床・大脳基底核・視床下部2	第2講義室	橋本
20	9月11日	金	4	(講 12) 臨床脳解剖学（神経系の診断と治療のための脳解剖学）	第2講義室	藤井（脳神経外科）
21	9月11日	金	5	(実 9) 実習 伝導路に沿って脳の断面と切片の観察2	解剖実習室	橋本

科目・コース（ユニット）名： 解剖・組織学Ⅱ（脳解剖学）

英語名称：Neuroanatomy

22	9月11日	金	6	(実 10) 実習 伝導路に沿って脳の断面と切片の観察3	解剖実習室	本間
23	9月15日	火	3	(講 12) 小脳	第2講義室	橋本
24	9月15日	火	4	(講 13) 嗅脳・辺縁系	第2講義室	橋本
25	9月15日	火	5	(実 11) 実習 レポート課題の仕上げ	解剖実習室	辻岡
26	9月15日	火	6	(実 12) 実習 レポート課題の提出、片付け	解剖実習室	神経解剖・発生教員
27	9月28日	月	1	(試験) 実習同定試験	未定	辻岡・橋本

【担当教員】

教員氏名	職	所属
辻岡 洋	教授	神経解剖・発生学講座
藤井 正純	教授	脳神経外科学講座
本間 俊作	准教授	神経解剖・発生学講座
渡邊 裕二	講師	神経解剖・発生学講座
橋本 光広	講師（学内）	神経解剖・発生学講座
向笠 勝貴	助教	神経解剖・発生学講座

【医師として実務経験のある教員による授業科目】 該当する